

生誕 130 年 橋本関雪展 ～豪腕画人 関雪登場～

1. 展覧会について

2. 構成

■第1章 誕生から文展入選まで

初期の作品を紹介。橋本関雪は 12 歳の時、四条派の画家に入門、日本画の手ほどきをうけ、若くから絵の才能を発揮した。しかし父の経済的理由から神戸を離れ、15 歳から 20 歳頃までの間、播州の有力者の家を巡りながら絵を描くという、放浪生活を送った。関雪の苦難の時代であったが、播州の素封家たちが支援し、彼はこの地に多くの作品を残した。

■第2章 文展での活躍

第2章では、官展画家としての地位を築いていく時代の作品を展示する。

21 歳のとき、関雪は京都の竹内栖鳳たけうちせいほうの画塾竹杖会ちくじょうかいに入門、当時、西洋絵画の技法と伝統的な四条派の画法を融合させ、日本画の新しい方向を探っていた栖鳳のもとで研鑽を積んだ。明治 40 年に開設された文展の第 1 回展へは落選したが翌年の第 2 回展で初入選、以後連続して入選し官展画家としての地位を築いていった。30 代から 40 代にかけて描かれた、横幅 7 メートルを超える六曲一双の作品群は本展の見どころのひとつである。

■第3章 南画と関雪

関雪の南画なんがへの関心を示す作品を展示。父海関かいかんの影響もあり、関雪は、絵画というものは、単に対象の外形を写したのではなく、描き手の内面を表すものでなければならないという考えを持っており、南画に対する愛着と共感を若いときから抱いていた。南画とは、中国の「南宗画なんしゅうが」を起源とする絵画をいう。江戸時代中期に日本へ伝わり、江戸後期から明治始めにかけて流行したが、その後日本画の近代化を目指す岡倉天心らから批判され衰退した。その後大正時代に、南画再評価の動きが興った。関雪はこのような動向を受け後期印象派などの画風を取り入れて「新南画」とよばれる近代の南画を描いた。

■第4章 動物画の世界

後半生に集中的に描かれた動物画を紹介。関雪は昭和の初めごろから帝展に動物画を出品するようになった。その理由は明らかではないが、50 歳を超え、初心に戻ってもう一度勉強する、とも述べていることから、心境に何らかの変化が生じたのであろう。これら一連の動物画は、それまでの南画的な作風とは全く趣を異にし、極めて写実的な描写を特徴とする。しかし写実に終始することなく、いずれの作品も豊かな詩情を漂わせ、そこから関雪の絵に込めた精神を窺い知ることができる。

■第5章 戦争そして晩年

関雪の晩年は戦争という時代と重なっている。同時代の美術家たちは、^{さいかんほうこく}彩管報国、すなわち絵筆をもって国に尽くそうというスローガンのもと、戦争記録画や戦意高揚のための作品を描く状況にあった。関雪も日本画壇の重鎮として求められた責務を果たすべく戦争画の制作を行った。絵画というものは目の前の事物を描くものではなく、画家が想像力を駆使して心に描いた世界、画家の内面を表すものであるという考えを抱いていた関雪にとって、戦争という現実を描く際には逡巡と苦悩があったと思われる。しかし関雪は日本画家としての矜持を保ち、老年にあっても画力が衰えることなくいくつもの名作を描いた。

橋本関雪略年譜

- 1883（明治 16）11月10日 神戸坂本村（現中央区楠町）に生まれる。
- 1895（明治 28）片岡^{こうこう}公曠に入門。
- 1903（明治 36）光村利藻の紹介で竹内栖鳳門に入る。
- 1905（明治 38）日露戦争に従軍。栖鳳に師事したのはこの時期まで。実質1年半であった。
- 1908（明治 41）第2回文展に入選。
- 1913（大正 2）初めての中国旅行に出る。
- 1914（大正 3）明石の二見^{かいにうるはくそう}に蟹江鱸白荘が完成する。
- 1916（大正 5）^{はくさきんそう}白沙村荘完成。
- 1921（大正 10）4月ヨーロッパ旅行に出発。12月帰国。
- 1923（大正 12）竹杖会を脱会。 関東大震災。
- 1924（大正 13）5月『南画への道程』出版。10月『関雪随筆』出版。
- 1926（昭和元）7月『石濤』出版。11月『浦上玉堂』出版。
- 1927（昭和 2）4月二度目のヨーロッパ旅行へ出発。翌年2月帰国。
- 1936（昭和 11）帝国美術院に辞表提出。
宝塚に土地を購入する。（冬花庵）
- 1940（昭和 15）6月『支那山水随縁』出版。秋、井上靖が宝塚の別荘を訪れる。
- 1942（昭和 17）8月 吉川英治と南方視察旅行に出発。
- 1943（昭和 18）5月『南を翔ける』出版。
- 1945（昭和 20）2月26日狭心症の発作により死去。

東洋に生れ東洋の伝統に生きる私は、東洋の芸術の包有する詩趣一即ち夢の世界を尊重したい。

（『関雪随筆』1925年 中央美術社）